

歴史と文化 (History and Culture)

中国文学において語られる死 (Chinese Literature; Molding of death)

有馬 卓也・教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 前期 木 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『外国文学』)

【授業の目的】 本授業は中国の様々な資料 (文学・思想・歴史・画像) などを通して、古代中国の人々の文化や意識を、テーマ別に論じるものである。そして、文化を通して、人間理解へと至ることを目的とする。

【授業の概要】 本講義では中国の古典作品に描かれた様々な死の在り方を体系的に見ることによって、当時の人々がどのような「生き方」を模索していたのかを考えていく。歴史書において潤色された死、自刎する者たちの意味づけ、思想家が語る死、画像に描かれた死後の世界、これらを通して中国古代文化の一面を理解していく。

【キーワード】 死、死後の世界、中国文化

【到達目標】 「死」というテーマを通して、古代中国を理解するとともに、古今を通じて変わることのない人間の基本的性情を理解する。

【授業の計画】

1. ガイダンス
2. 『史記』に語られる死:予讓 (1)
3. 『史記』に語られる死:予讓 (2)
4. 『史記』に語られる死:齊桓公 (1)
5. 『史記』に語られる死:齊桓公 (2)
6. 自刎する者の美学:『新序』 (1)
7. 自刎する者の美学:『新序』 (2)
8. 自刎する者の美学:『新序』 (3)
9. 自刎する者の美学:『新序』 (4)
10. 思想家の描く死:『莊子』 (1)
11. 思想家の描く死:『莊子』 (2)
12. 描かれた死後の世界 (1):崑崙山
13. 描かれた死後の世界 (2):西王母
14. まとめ
15. 試験
16. 総括

【教科書】 毎回プリント (漢文) を配布する。参考書は随時提示する。

【成績評価の方法】 期末にテストを行う (漢文の読みや知識を問うような問題は出さ

ない)。

【再試験の有無】 無

【受講者へのメッセージ】 授業中の私語厳禁。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220721>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 有馬 (088-656-7119, arima@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 随時)